

## 憲法と地方自治—コロナ時代の平和 新自由主義 改憲問題の視点から



### 記念講演

広島市立大学 広島平和研究所

准教授 **河上 暁弘**

#### 講師プロフィール

富山市出身。中央大学法学部卒、中央大学大学院博士前期課程修了  
専修大学大学院博士後期課程修了 博士(法学)  
2008年4月より広島市立大学広島平和研究所講師、2014年4月より現職  
専門は、憲法学  
主著(単著)として、『平和と市民自治の憲法理論』(敬文堂、2012年)、  
『日本国憲法第9条成立の思想的淵源の研究』(専修大学出版局、2006年)

#### 講師からのメッセージ

世界中で新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。この中で、自由か安全か、独裁か民主主義か、国際協調か自国優先か、福祉か弱肉強食か…などといったある意味で古くて新しい問題が顕在化しています。  
今回は、あらためて、コロナ時代における平和、新自由主義、改憲問題という視点から地方自治のあり方について考えたいと思います。

と き **2021年 1月24日(日)**

13:30~16:30 (受付開始13:00から13:30)

と ころ **ZOOMミーティングに変更**

#### 特別報告

- ① 広島県地域医療構想と国保県単位化後の動き  
(広島県民主医療機関連合会)
- ② 広島県の学校教育の現状と課題  
(今谷 賢二)

《申込みから参加までの流れ》

- ① 団体・個人 広島自治研へメールで参加申請(広島自治研ホームページにて確認) 原則 締切1月18日  
参加費(1000円)は団体・個人の方は 郵便振替(01380-9-12876)等  
で広島自治体問題研究所宛に送付してください。
- ② 申込み確認後 1月18日以降広島自治研から招待メールを発行します。
- ③ 当日は、13:00から13:30までにメールで送るID、パスワードからZOOMに参加してください。